

◇◇◇ 7 款 商 工 費 ◇◇◇

[1項 商工費]

1. バイオ関連分野において福岡県と連携し、全国有数のバイオ産業拠点を目指して取組を実施している。産学官金が連携して、研究初期から製品化・実用化までを支援するほか、販路開拓・拡大を目的にした海外展開支援の実施など、バイオベンチャー企業の創出、育成を促進した。
2. 原油価格や物価の高騰などの影響により厳しい状況が続いている市内事業者に対し、市融資制度による資金繰り支援を継続して行った。また、社会経済環境の変化に対応するためのD X導入支援やキッチンカーによる新たな販路開拓支援に取り組んだ。
3. 企業誘致については、中心市街地へのオフィス誘致を図るため、地方進出に関心のある企業に対して、直接訪問を基本とした誘致活動を展開した。また、進出決定企業に対しては、雇用確保などの様々な課題解決のため、ワンストップによる支援を行った。
4. 中心部商店街の活性化を図るため、商店街やまちづくり会社が実施する「まちあるき」イベントや情報発信強化の支援に取り組んだ。また、春の「くるめ楽衆国まつり」、夏の「土曜夜市」、秋の「久留米たまがる大道芸」、そして冬には「くるめ光の祭典（ほとめきファンタジー）」など、一年を通じて中心市街地で開催される大型イベントを支援し、まちなかの賑わいづくりに取り組んだ。
5. 消費を喚起し、地域経済の回復を図るため、商工団体が行うプレミアム率20%の商品券事業を支援した。各商工団体と連携し、商品券の電子化率の向上を図った。
6. 消費者被害を未然に防ぐため、主に若者や高齢者を対象とした出前講座の実施や、公式サイトや広報久留米、LINE等を通じた注意喚起情報の発信など啓発活動を行った。また、被害に遭った方々に助言や専門相談窓口への案内を行うことで、救済とさらなる被害拡大の防止に努めた。計量事業においては、適切な計量の実施を確保するため、計量法に基づく特定計量器の定期検査や事業所への立入検査の実施、さらに市所管施設での電気子メーターの管理状況調査を行った。
7. 急速に回復した旅行需要を取り込むため、インフルエンサーを活用したSNSによる情報発信や観光案内所へのデジタルサイネージの設置などの情報発信に取り組んだ。
8. 筑後川花火大会や城島酒蔵びらきなど、これまで多くの誘客に繋がっているイベント支援に加え、民間事業者によるイベント等の支援を行い、新たな賑わいの創出を図った。

2目 商工業振興費

	決 算 額	国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
	千円	千円	千円	千円	千円
商 工 業 振 興 費	4,851,015	251,875		4,172,062	427,078

○卸売市場事業特別会計繰出金 95,000 千円

※卸売市場事業特別会計については156ページに掲載

○創業支援事業 200,079 千円

国のよろず支援拠点と連携し、くるめ創業ロケットを中心として、創業者の各段階に応じた支援を行うとともに、「若年層向け創業人材育成プログラム」を実施し、主に若年層の創業創出に取り組んだ。また、商標や特許など知的財産の普及・活用を促進することにより、地域経済の発展を図った。

- ・創業支援事業費補助金 27,907 千円
- ・知的財産普及活用推進事業費補助金 5,569 千円
- ・中小企業新規開業資金預託金 159,500 千円

○新産業・新技術支援事業 37,492 千円

新製品や新事業の創出を目的に、地域のものづくり企業に対して、研究機関との連携を図るコーディネートや研究開発支援に加え、経営層への啓発・実務者への技術的研修を通じたDX推進を図った。また、福岡県と連携して、成長分野である宇宙関連ビジネスの支援を行うなど、市内ものづくり企業の新技術・新製品の開発促進を図った。

- ・久留米市産業技術振興事業費補助金 34,274 千円
- ・福岡県半導体・デジタル産業振興会議（宇宙ビジネス研究会）負担金 3,000 千円

○バイオ産業振興事業 129,499 千円

福岡県と連携し、地域企業の新製品開発やバイオベンチャー企業の創出・育成を促進していくことで、バイオ産業の集積を図った。また、産学官金の連携強化を進めるとともに、海外展開支援を実施し、販路開拓・拡大や米国における医薬品開発の促進を図った。

- ・バイオ産業振興事業費補助金 128,134 千円

○中小企業金融対策事業 3,779,446 千円

○中小企業融資利子・保証料補給金 71,375 千円

○中小企業共同事業促進助成 3,493 千円

○商工指導機関助成 63,762 千円

○地場産業総合振興事業 26,537 千円

○地域企業経営力強化促進事業（翌年度繰越額 700 千円） 10,812 千円

〔うち令和 5 年度繰越事業 242 千円〕

デジタル化の急速な進展など社会経済構造の変化に対応するため、D X活用や新たな販路開拓など将来を見据えた企業の前向きな取組を支援した。

・ 中小企業D X促進事業	3,181 千円
・ 販路開拓促進事業費補助金	3,276 千円
・ 中小企業止水板等設置事業費補助金	796 千円

○産業振興奨励金 193,079 千円

○企業誘致推進事業 4,454 千円

○産業団地整備事業 8,618 千円

・ 次期産業団地可能性調査業務 8,605 千円

○中心部商業活性化事業 1,646 千円

・ 中心市街地商店街にぎわい創出戦略モデル事業費補助金 1,646 千円

○地域商業支援事業 156,065 千円

・ 商品券発行事業費補助金 156,065 千円

○中心市街地活性化事業 16,940 千円

○まちなか賑わい創造事業 45,492 千円

・ くるめ光の祭典事業費補助金 21,500 千円

・ まちなか賑わい支援事業 7,261 千円

・ まちなか地域物産店事業費補助金 6,338 千円

・ くるめ楽衆国まつり事業費補助金 3,000 千円

・ 久留米たまがる大道芸事業 7,393 千円

3目 消費生活センター費

	決 算 額	国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
	千円	千円	千円	千円	千円
消費生活センター費	2,014	892			1,122

○消費生活対策事業 1,717 千円

4目 観光費

	決 算 額	国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
	千円	千円	千円	千円	千円
観 光 費	408,358	65,245		79,698	263,415

○伝統的町並み保存事業 731 千円

○観光施設整備管理事業 11,044 千円

○観光案内サイン整備管理事業 1,216 千円

○四季のイベント振興事業 104,942 千円

- ・観光活性化推進事業費補助金 27,076 千円
- ・筑後川花火大会補助金 40,000 千円
- ・水の祭典久留米まつり 22,000 千円
- ・城島酒蔵びらき 10,280 千円
- ・久留米つつじマーチ 5,500 千円

○観光プロモーション推進事業 49,568 千円

交流人口の拡大や地域活力の維持・発展のため、観光プロモーション・情報発信の強化や新たなにぎわいの創出等により、市内への効果的な誘客を図った。

- ・観光情報等発信デジタルサイネージ整備事業 3,264 千円
- ・インフルエンサー活用プロモーション強化事業 3,599 千円
- ・観光商品づくり推進事業（まち旅） 2,665 千円
- ・新たなにぎわい創出支援補助金 7,771 千円

○インバウンド推進事業 12,779 千円

急速に拡大するインバウンド市場において、情報発信による久留米市の認知度維持・向上を図ると同時に、外国人旅行客受入環境の整備を推進した。

- ・SNS情報発信事業 3,015 千円
- ・FIT（個人旅行）誘客促進事業 5,000 千円
- ・インバウンド推進事業費補助金 100 千円

○地域資源観光活用事業 5,588 千円

○世界のつばき館等活用費 19,570 千円

○山辺道文化館費 8,960 千円

○田主丸ふるさと会館費 15,500 千円

○九州オルレ推進事業 2,214 千円

○観光コンベンション振興事業 154,044 千円

○M I C E誘致推進事業

17,977 千円

5目 歴史資料館費

	決 算 額	国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
歴 史 資 料 館 費	千円 9,678	千円	千円	千円	千円 9,678

○草野歴史資料館費

9,678 千円

◇◇◇ 8 款 土 木 費 ◇◇◇

[1項 土木管理費]

1. 久留米市建築物耐震改修促進計画に基づき、民間及び公共建築物の耐震化の促進に努めた。
2. 市民の安全・安心を確保するため、老朽化した空家等の解体費用を助成するなど、老朽危険空家の除却促進に努めた。

1目 土木総務費

	決 算 額	国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
	千円	千円	千円	千円	千円
土 木 総 務 費	326,096				326,096

○土木総務費 26,756 千円

○建築総務費 5,968 千円

2目 建築指導費

	決 算 額	国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
	千円	千円	千円	千円	千円
建 築 指 導 費	61,451	19,732			41,719

○耐震改修促進事業 6,801 千円

・危険ブロック塀等撤去費補助金 904 千円

○空家等対策推進事業 31,111 千円

・老朽危険空家等除却促進事業費補助金 23,576 千円

・空き家相談支援 209 千円

・空き家活用リフォーム助成事業補助金 2,543 千円

○盛土防災推進事業 7,909 千円

宅地造成及び特定盛土等規制法（通称、盛土規制法）の施行に伴い、危険な盛土等のリスク軽減を図るため、規制区域の指定に必要な基礎調査を実施した。

・盛土規制法基礎調査 7,846 千円

[2項 道路橋りょう費]

1. 道路や水路などの公有財産の適正かつ効率的な管理のため、官民境界の確定や不法占用物の撤去、道路情報の把握を行うための道路台帳の補正、未登記道路の解消に取り組んだ。
2. 市民の日常生活に密接に結びついた生活道路の整備（側溝改良及び舗装新設等）及び維持・管理を行い、市民の生活基盤の改善を図った。
3. 交通事故が多く発生する道路及び緊急に安全を確保する必要がある道路について、交通安全施設の整備・拡充、並びに交通渋滞の緩和対策として交差点の改良を行うなど、交通環境の改善による事故防止と交通の円滑化を図った。
4. 国土交通省からの新規事業化選定を受け、九州縦貫自動車道鹿児島線の久留米ＩＣ～広川ＩＣ間に、ＮＥＸＣＯ西日本と共同で設置する久留米南スマートＩＣ（仮称）の整備に向けた取組を開始した。

1目 道路橋りょう総務費

	決 算 額	国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
	千円	千円	千円	千円	千円
道路橋りょう総務費	848,815				848,815

○道路台帳補正事業	24,563 千円
○道路等用地取得事業	8,255 千円
○官民境界整理事業	399 千円
○違法看板及び不法占拠物撤去事業	2,807 千円
○未登記道路等整理事業	7,390 千円
○法定外公共物管理事業	3,651 千円

2目 道路維持費

	決 算 額	国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
	千円	千円	千円	千円	千円
道 路 維 持 費	768,006	110,642	152,400		504,964

○道路維持修繕事業	251,714 千円
・道路維持修繕	131,581 千円
・路側除草、路面清掃等業務委託	120,133 千円

○予防的道路補修事業（翌年度繰越額 23,418 千円）	286,767 千円
[うち令和 5 年度繰越事業 35,748 千円]	
・舗装補修（C 3 号線）他 1 5 件	243,020 千円
○自転車対策費	86,119 千円

3 目 道路新設改良費

	決 算 額	国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
	千円	千円	千円	千円	千円
道 路 新 設 改 良 費	902,068	190,671	198,800		512,597

○道路新設改良事業（翌年度繰越額 97,928 千円）	433,525 千円
[うち令和 5 年度繰越事業 115,837 千円]	
○小規模交差点改良事業	5,950 千円
○補助幹線道路整備事業（翌年度繰越額 20,957 千円）	145,008 千円
[うち令和 5 年度繰越事業 52,858 千円]	
○筑後川堤防道路整備事業（翌年度繰越額 52,200 千円）	68,433 千円
○外環状道路北部延伸関連事業	740 千円
○県施行橋りょう地元負担金（翌年度繰越額 36,000 千円）	66,000 千円
[うち令和 5 年度繰越事業 42,000 千円]	
○国・県施行道路促進事業（翌年度繰越額 24,065 千円）	30,273 千円
[うち令和 5 年度繰越事業 5,334 千円]	
○私道整備助成事業	1,500 千円
○後退道路用地取得事業	10,684 千円
○大規模交差点改良事業（翌年度繰越額 26,000 千円）	137,964 千円
[うち令和 5 年度繰越事業 13,181 千円]	
○スマート I C 整備事業（翌年度繰越額 31,476 千円）	1,991 千円

4目 交通安全施設整備費

	決 算 額	国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
	千円	千円	千円	千円	千円
交通安全施設整備費	246,227	75,559	56,200		114,468

○交通安全施設整備事業（翌年度繰越額 10,470 千円） 68,068 千円

○学校周辺安全対策事業 145,037 千円

○自転車通行空間整備事業（翌年度繰越額 21,000 千円） 17,980 千円

〔うち令和5年度繰越事業 17,980 千円〕

○道路附属照明灯維持管理事業 15,142 千円

5目 橋りょう維持費

	決 算 額	国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
	千円	千円	千円	千円	千円
橋りょう維持費	157,246	79,057	33,500		44,689

○橋りょう維持修繕事業 495 千円

○橋りょう長寿命化事業（翌年度繰越額 38,000 千円） 155,046 千円

6目 橋りょう新設改良費

	決 算 額	国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
	千円	千円	千円	千円	千円
橋りょう新設改良費	78,956	34,837	25,600		18,519

○橋りょう新設改良事業（翌年度繰越額 31,215 千円） 78,956 千円

〔うち令和5年度繰越事業 53,528 千円〕

・筒川橋（筒川） 78,956 千円

[3項 河川費]

1. 河川、排水路の浚渫・補修等、適正な維持管理に努めた。
2. 水害を軽減するため、準用河川改修事業、河川・排水路改良事業等による河川、排水路の改良整備に努めた。また、近年の浸水被害を踏まえ、公園やグラウンド等の公共施設でのオンサイト貯留施設の整備や、ため池を活用した洪水調整施設の整備に取り組むとともに、国・県との連携を図りながら市街地浸水対策事業を推進した。

1目 河川総務費

	決 算 額	国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
	千円	千円	千円	千円	千円
河 川 総 務 費	482,233	27,135	72,300		382,798

○河川排水路等補修事業 226,528 千円

○調整池維持修繕事業 14,609 千円

○排水施設等長寿命化事業 1,573 千円

2目 河川改良費

	決 算 額	国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
	千円	千円	千円	千円	千円
河 川 改 良 費	1,480,168	7,263	936,900	95,000	441,005

○市街地浸水対策事業（翌年度繰越額 511,905 千円） 1,312,917 千円

〔うち令和5年度繰越事業 211,051 千円〕

近年増加している集中的な大雨による浸水被害の軽減を図るため、国・県と連携して対策に取り組んだ。	
・下弓削川・江川流域浸水対策	77,171 千円
・北野地区浸水対策	300,268 千円
・城島・三潞地区浸水対策	19,283 千円
・田主丸地区浸水対策	155,090 千円
・野添川流域浸水対策	46,841 千円
・大谷川・不動川流域浸水対策	90,944 千円
・雨水流出抑制対策	16,023 千円
・金丸川・池町川流域浸水対策	230,473 千円
・協働による取組（みんなで流域治水！）	5,928 千円

○準用河川改修事業（安武川）（翌年度繰越額 29,209 千円） 31,800 千円

○河川排水路改良事業（翌年度繰越額 46,230 千円） 135,451 千円

〔うち令和5年度繰越事業 41,789 千円〕

[4項 都市計画費]

1. JR久留米駅前第二街区の再開発支援を行い、中心市街地の活性化に努めた。
2. 地域生活拠点として相応しい安全で円滑な交通が確保された拠点市街地の形成を推進するため、大善寺駅西口交通広場の整備に取り組んだ。
3. 既存公共交通を維持し、市域内外での円滑な移動が可能となるような公共交通体系の整備を図るとともに、日常の移動や、まちなかを散策する手段として自転車を利用しやすい環境の整備に努めた。
4. 都市における円滑な交通の確保、豊かな公共空間を備えた良好な市街地の形成を図るため、都市計画道路の整備を推進した。
5. 市内各公園等の整備充実を図り、市民の安全な憩いの場の建設に努めるとともに、中心市街地の賑わい創出や市民サービスの向上のため、拠点公園のリニューアル整備に取り組んだ。

1目 都市計画総務費

	決 算 額	国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
	千円	千円	千円	千円	千円
都 市 計 画 総 務 費	1,247,157	158,653	121,800	93,328	873,376

○都市景観形成促進事業 223 千円

○都市づくり計画事業 41,187 千円

ネットワーク型のコンパクトな都市構造の構築に向け、適切な都市計画手法を活用し、安全・安心で将来にわたって活力あふれる持続可能な都市の実現を図った。

・久留米市都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の改定業務 12,991 千円

○中心拠点・地域生活拠点整備事業 17,549 千円

・大善寺駅西口交通広場 17,513 千円

○幹線道路整備促進事業（翌年度繰越額 23,916 千円） 12,090 千円

・幹線道路整備検討業務 5,043 千円

○路線バス利用促進事業 989 千円

○生活支援交通整備事業 39,762 千円

・生活支援交通〔よりみちバス〕運行委託（北野・城島地域） 29,299 千円

・地域交通対策事業費補助金〔コミュニティタクシー〕 9,207 千円

○鉄道利用促進事業 5,526 千円

・宮の陣駅前交通対策基本設計業務 4,243 千円

○自転車利用促進事業（翌年度繰越額 9,511 千円）	16,140 千円
・ 放置自転車対策（街頭指導・啓発、撤去費等）	7,836 千円
・ 宮ノ陣西自転車駐車場整備工事	4,474 千円
・ 次期自転車利用促進計画策定業務	2,249 千円
○路線バス維持改善事業	93,449 千円
○鳥類センター事業	69,098 千円
○中心市街地再整備事業（翌年度繰越額 397,000 千円）	255,192 千円
○歩きたくなるまちづくり事業（翌年度繰越額 26,620 千円）	65,785 千円
[うち令和5年度繰越事業 17,745 千円]	
・ 中心拠点整備工事（池町川緑道整備工事）	34,740 千円
（寺町地区整備工事）	31,045 千円
○駐車場情報提供事業	2,734 千円
○M a a S 導入推進事業	1,314 千円

複数の公共交通の移動サービスを組み合わせた利便性向上や地域公共交通の課題解決に資する手段となるM a a Sの普及促進に向けて、福岡県及び交通事業者と連携し、お得なデジタル企画乗車券「田主丸と もぎもぎきっぷ」を造成した。

・ M a a S 検討会議負担金 1,314 千円

3 目 街路事業費

	決 算 額	国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
	千円	千円	千円	千円	千円
街 路 事 業 費	468,933	63,775	165,300	132	239,726

○中環状道路整備事業（合川町津福今町線・東町太郎原町線）	124,383 千円
[うち令和5年度繰越事業 82,398 千円]	
○内環状道路整備事業（東櫛原町本町線）（翌年度繰越額 157,268 千円）	173,840 千円
○県施行事業地元負担金	170,710 千円

4目 公園費

	決 算 額	国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
	千円	千円	千円	千円	千円
公 園 費	899,544	111,330	125,200	259,133	403,881

○都市公園整備事業 146,438 千円

〔うち令和5年度繰越事業 69,895 千円〕

- ・津福公園 69,898 千円
- ・高山公園 76,540 千円

○公園維持管理事業 558,637 千円

- ・都市公園指定管理 394,812 千円
- ・久留米百年公園外管理委託 45,415 千円

○公園長寿命化事業 41,898 千円

- ・老朽公園施設改修更新工事 33,395 千円

○鳥類センター改修事業 18,847 千円

〔うち令和5年度繰越事業 7,648 千円〕

○拠点公園リニューアル整備事業 72,850 千円

〔うち令和5年度繰越事業 45,805 千円〕

- ・百年公園等における民間活力導入検討 51 千円
- ・京町第2公園リニューアル整備工事 72,799 千円

5目 緑化推進費

	決 算 額	国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
	千円	千円	千円	千円	千円
緑 化 推 進 費	107,265	2,700	2,700	67,316	34,549

○市民とつくる花と緑のまちづくり 15,463 千円

- ・花と緑の名所づくり等 11,963 千円
- ・みどりの市民会議助成 3,500 千円

○花とみどりの景観整備事業 4,105 千円

- ・花街道サポーター支援業務等 3,277 千円
- ・国道210号浮羽バイパス緑化業務 828 千円

○樹木の保全事業 1,902 千円

○中心市街地拠点緑化事業	6,374 千円
[うち令和5年度繰越事業 6,374 千円]	
・緑化スポット整備	6,374 千円
○街路樹維持管理事業	69,649 千円
○緑化施設維持管理事業	9,238 千円
○緑の基本計画推進事業	165 千円

[5項 住宅費]

1. 既存市営住宅の改修（外壁改修、防水改修等）を実施するなど、建物の長寿命化に取り組んだ。
2. 将来にわたる良質な住宅ストックの形成を図るため、老朽化した北野地区八重亀住宅の集約建替事業に取り組んだ。
3. 住宅リフォーム助成など民間住宅の良質な住宅ストックの形成を図るとともに、マンション管理適正化の推進に努めた。

1目 住宅管理費

	決 算 額	国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
	千円	千円	千円	千円	千円
住 宅 管 理 費	623,049	111,470	136,600		374,979

○住生活推進事業	9,136 千円
○住宅修繕事業	134,122 千円
○住宅耐久性向上事業	206,286 千円
○浴室・給湯改善事業	2,365 千円
○家賃滞納整理事業	150 千円
○住宅新築資金等貸付事業	67 千円

2目 住宅建設費

	決 算 額	国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
	千円	千円	千円	千円	千円
住 宅 建 設 費	27,814	9,022	9,400		9,392

○公営住宅等建替事業 22,301 千円

北野地区において、住環境の改善、老朽住宅の解消、跡地の有効活用を図るために、老朽市営住宅（八重亀住宅、塚島住宅）の集約建替に係る設計業務等を実施した。					
・地質調査				1,693 千円	
・NO. 1 棟建設工事設計				13,007 千円	
・解体工事設計				1,482 千円	
・測量調査、外構設計				2,362 千円	
・住宅性能評価等審査手数料				389 千円	
・仮移転費（移転補償費）				3,368 千円	

○市営住宅跡地活用事業 5,513 千円

[6項 下水道費]

1目 下水道費

	決 算 額	国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
	千円	千円	千円	千円	千円
下 水 道 費	1,567,000				1,567,000

○下水道事業会計繰出金 1,567,000 千円